

平成29年度 松江第四中学校  
「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果と分析

◆各教科の結果分析及び課題解決に向けた対策

国語

〈現状把握〉

全体的には、都の平均より8%下回っている。項目別では、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」は都平均に近い。しかし、「技能」は8.4%、「知識・理解」11.8%と都平均との差が開いている。

〈授業改善プラン〉

「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」については、漢字コンテストや発表の実施により、達成感を持たせ自信をつけさせたい。  
「技能」については、感想や発表の原稿を書かせたり、工夫しながら力を付けさせたい。  
「知識・理解」については、漢字テストを計画的に実施し、基礎力を身に付けさせたい。

社会

〈現状把握〉

全体としては都の平均値より9.1%下回っている。教科の内容では正答率はさらに低く-15.3%になっている。項目別では、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」は都の平均値よりそれぞれ-9%、-6.6%と一けた台であるが「技能」「知識・理解」では-10%と二けたになっている。読み解く力に関しては、いずれの項目も都の平均値を下回っている。

〈授業改善プラン〉

「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」を改善するためには、授業でなく社会全般に対する興味・関心を高める教材を多用するなどして、多面的・多角的に社会につ

いて考える姿勢を身に付けさせる。さらに授業で基礎・基本的な用語や知識を暗記させ、知識量を増やさせる。  
「技能」を身につけるために、普段から地図帳や資料を活用した授業を行い、数字や図表、グラフの分析（読み取り）に慣れさせておく。  
「知識・理解」を定着させるために、単元テストや重要語句テストなどの小テストを実施することにより、基礎学力を身に付けさせる。  
「読み解く力」に関しては、ワークなどの問題集を繰り返し行うことにより、基礎学力の定着と読み取る力を養わせるようにする。

数学

〈現状把握〉

「知識・理解」が都の正答率より-11.4%低いが、さらに、「技能」はさらに-16.1%とさらに低い。しかし、「思考・判断・表現」では、-5.7%と差は縮小する。「読み解く力」に関する内容については、「取り出す力」が都の正答率より、-26.1%、「読み取る力」は-21.9%共にその差は大きい、「解決する力」に至っては、わずかに-4.4%と都の正答率との差はそれ程ない。

〈授業改善プラン〉

「知識・理解」を高めるため、授業内で数学的な言葉や用語をしっかりとおさえる。また、小単元ごとに、小テストを実施し定着をはかる。  
「技能」を身につけるために、教材プリントや問題集を活用し、繰り返し問題を解き基礎基本の定着をはかる。  
「読み解く力」を身につけるために、多くの文章問題に取り組み、繰り返し練習を行うことで問題の意図を読み取れるようにする。

理科

〈現状把握〉

全体としては都の平均値より5.7%下回っている。比較的「関心・意欲・態度」は差が小さく都の平均に近い。「技能」においては+3.5%と都の平均を上回っている。しかし、他の項目に至っては約-7%となっており、改善が必要である。

〈授業改善プラン〉

「関心・意欲・態度」「技能」はさらに高めていくために実験等を積極的に行う。  
「思考・判断・表現」では、実験の考察の書き方・考え方に重点を置いて、取り組む。基本的な書き方を復習し、考え方につなげていく。  
「知識・理解」を定着させるために単元ごとの小テストを行う。また「理科コンテスト」を行い、単語の定着をはかる。  
「読み解く力」を養うために、理科に関する事例や、都立入試の長文読解や問題を解く時間を設ける。

英語

全体としては、都平均値より16.3%下回っている。「関心・意欲・態度」においても、都平均値より33.3%下回っている。「思考・判断・表現」ではと平均値との差が-15.4%。書く力が足りない。「知識・理解」は昨年度よりと平均値との差は縮んだが、「技能」においては、差が開いてしまっている。「読み解く力に関する内容」は3項目とも昨年度よりやや落ちている。

〈授業改善プラン〉

「技能」においては、ALTの授業を継続して評価制にし、英語を実践的に使う意識を高め、他の項目と同時に表現や理解のスキルアップも図る。ある程度まとまりのある長さの英文を、教材を活用して習慣化する。基本的事項を繰り返し徹底的に学習し、身に付けさせ、それらを含むリーディングやリスニングの応用問題に挑戦させ、スキルアップを図り自信をもたせる。また、小テストなどを繰り返し行い、基礎的・基本的学力を定着させる。

◆各教科の調査結果（正答率：％）

教科	A 教科の内容			B 読み解く力に関する内容			AとBの合計		
	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差
国語	65.6%	74.2%	-8.6%	61.5%	73.3%	-11.8%	65.0%	73.0%	-8.0%
社会	47.6%	62.9%	-15.3%	45.1%	54.9%	-9.8%	47.1%	56.2%	-9.1%
数学	47.4%	63.7%	-16.3%	26.4%	34.6%	-8.2%	41.6%	53.3%	-11.7%
理科	51.8%	66.5%	-14.7%	47.5%	54.6%	-7.1%	50.9%	56.6%	-5.7%
英語	48.2%	68.2%	-20.0%	50.7%	63.7%	-13.0%	48.7%	65.0%	-16.3%

◆観点別の調査結果（正答率：％）

教科	A 教科の内容												B 読み解く力に関する内容													
	関心・意欲・態度			思考・判断・表現 （国語：書く）（英語：外国語表現）			技能 （国語：書く）（英語：外国語理解）			知識・理解 （国語：言語）			読む			取り出す力			読み取る力			解決する力				
	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都	差	本校	東京都
国語	95.2%	96.9%	-1.7%	69.9%	69.9%	0.0%	61.8%	70.2%	-8.4%	65.2%	77.0%	-11.8%	52.7%	56.9%	-4.2%	59.6%	69.7%	-10.1%	57.8%	71.8%	-14.0%	69.0%	78.4%	-9.4%		
社会	85.8%	94.0%	-8.2%	37.7%	44.3%	-6.6%	45.2%	55.2%	-10.0%	47.7%	58.3%	-10.6%				53.2%	64.6%	-11.4%	47.1%	57.0%	-9.9%	35.0%	43.3%	-8.3%		
数学	76.7%	85.7%	-9.0%	42.4%	48.1%	-5.7%	43.5%	59.6%	-16.1%	49.9%	61.3%	-11.4%				33.2%	59.3%	-26.1%	15.7%	37.6%	-21.9%	32.4%	36.8%	-4.4%		
理科	88.8%	89.0%	-0.2%	42.3%	48.3%	-6.0%	78.1%	74.6%	3.5%	46.3%	54.2%	-7.9%				69.8%	78.5%	-8.7%	24.9%	31.6%	-6.7%	47.9%	53.7%	-5.8%		
英語	57.8%	91.4%	-33.6%	33.7%	49.1%	-15.4%	51.1%	66.8%	-15.7%	50.7%	65.5%	-14.8%				49.2%	63.5%	-14.3%	62.8%	77.5%	-14.7%	40.1%	50.0%	-9.9%		

A層～D層分布図

国語		社会		数学		理科		英語						
正答数	人数	正答数	人数	正答数	人数	正答数	人数	正答数	人数					
A	38	20.3%	A	42	22.5%	A	45	24.1%	A	43	23.0%	A	44	23.5%
B	50	26.7%	B	47	25.1%	B	45	24.1%	B	43	23.0%	B	48	25.7%
C	55	29.4%	C	50	26.7%	C	43	23.0%	C	42	22.5%	C	50	26.7%
D	44	23.5%	D	48	25.7%	D	54	28.9%	D	59	31.6%	D	45	24.1%
187		187		187		187		187						

\*A層～D層は調査者を正答数の大きい順に整理し、人数比率により25％刻みで4つの層に分けたもの。経年比較により各層の推移を捉え指導に生かしていくねらいを持つ。

到達目標値・習得目標値達成の割合

国語		社会		数学		理科		英語						
正答数	人数	正答数	人数	正答数	人数	正答数	人数	正答数	人数					
習得目標値未満	13	7.0%	習得	35	18.7%	習得	76	40.6%	習得	20	10.7%	習得	23	12.3%
到達目標値達成	88	47.1%	到達	9	4.8%	到達	6	3.2%	到達	14	7.5%	到達	22	11.8%
到達目標値～習得目標値	86	46.0%		143	76.5%		105	56.1%		153	81.8%		142	75.9%
187		187		187		187		187						

\*到達目標値とは東京都が定めた達成することが期待される数値（教科書の練習問題レベルの問題数）、習得目標値とは全員がクリアしていかなければならない数値（教科書の例題レベルの問題数）のこと。